

## 収蔵映画未公開作品の上映 (戦前の時代劇を集めて)

ひろく映画愛好者の御要望に応じて、これまで当センターで公開の機会がなかった収蔵映画にスポットをあて、次の日程により、これら作品の上映を図ることにいたしました。今回とりあげる作品は、終戦後の占領時代、米軍によって接収されアメリカに送られた戦前・戦中製作にかかる日本映画で、先年同国政府の御好意で日本に返還され当センターに収蔵したもののばかりであります。これまでも返還映画中の主要作品は当センターの種々な特集企画の中で上映を図ってきましたが、時代劇上映の機に恵まれず今日に至りました。従って時代劇のみを集めた未公開作品の上映は今回が初めての試みであります。ここにとりあげた作品の大半は、今後上映の機会が少ないと思われるので、この機をお見逃しなく御利用下さるようおすすめいたします。

1975年4月1日～4月30日

日曜・祝日休館

午後3時・6時15分開映

フィルムセンター

一般100円・学生70円・小人50円

期 日	曜 日	題 名	製 作 年	製 作 会 社	監 督	出 演	備 考
4月1日	火	高山彦九郎(部分) 貝殻一平(第1編)	1928年	東 亜	後 藤 岱 山	光岡竜三郎、小坂照子	東亜キネマ御大典奉祝の記念大作。(サイレント)
			1930年	日 活	清 瀬 英次郎	光岡竜三郎、酒井米子、鳥羽陽之助	吉川英治原作新聞連載小説の連続映画化。(サイレント)
2日	水	紅蝙蝠(第1部)	1931年	"	田 中 都留彦	光岡竜三郎、吉野朝子、酒井米子	長谷川伸原作新聞連載小説の連続映画化。(サイレント)
3日	木	水戸黄門	1932年	"	辻 吉 朗	山本嘉一、海江田譲二、光岡竜三郎	日活特作の新釈水戸黄門映画。
4日	金	相馬の金さん	1938年	東 宝	稲 葉 蚊 児	海江田譲二、月宮乙女、林喜美子	岡本綺堂の戯曲より映画化。
7日	月	怪奇江戸川乱山	1937年	今井映画	下 村 健 二	羅門光三郎、泉清子、宝久美子	時代怪奇オカルト映画の先駆作。
8日	火	愛憎秘刃録	1938年	東 宝	外 山 凡 平	海江田譲二、月宮乙女、山根寿子	三上於菟吉原作の幕末劇。
9日	水	奴 銀 平	1938年	松 竹	大曾根 辰 夫	川浪良太郎、毛利峰子、堀正夫	忠義一途の奴銀平が、主家再興の活躍を描く。
10日	木	無明有明(後編)	1939年	日 活	松 田 定 次	月形竜之助、大倉千代子、志村喬	吉川英治原作大衆文学の映画化。
11日	金	新編 丹下左膳 雙眼の巻	1939年	東 宝	中 川 信 夫	大河内伝次郎、山田五十鈴、高峰秀子	川口松太郎原作新構想になる丹下左膳シリーズ。
14日	月	右門捕物帖 十万両秘聞	1939年	日 活	荒 井 良 平	嵐寛寿郎、沢田清、深水藤子	佐々木味津三原作、アラカン十八番右門シリーズの一本。
15日	火	鞍馬天狗江戸日記	1939年	"	松 田 定 次	嵐寛寿郎、尾上菊太郎、大倉千代子	大仏次郎原作、御存知アラカン天狗シリーズ。
16日	水	美女桜(前・後編)	1940年	松 竹	大曾根 辰 夫	坂東好太郎、川浪良太郎、北見礼子	大仏次郎原作、大名のお家騒動を廻って正邪の戦い。
17日	木	権三と助十	1940年	"	古 野 栄 作	坂東好太郎、高田浩吉、新妻四郎	かごや仲間の名コンビが、殺人事件の渦中に入っての大岡裁判。
18日	金	二本松少年隊	1940年	"	秋 山 耕 作	高田浩吉、乃木年雄、北見礼子	維新奥羽戦争に散った幕軍少年隊士たちの悲劇。
21日	月	弥次喜多怪談道中(部分) 落花の舞	1940年	"	古 野 栄 作	高田浩吉、藤井貢、伏見直江	唄う浩吉、弥次喜多道中シリーズの一本。
			1940年	新 興	西 原 孝	市川右太衛門、大谷日出夫、歌川絹江	由比正雪の乱を背景に退屈男バリ右太衛門の大活躍。
22日	火	宮本武蔵(第3部)	1940年	日 活	稲 垣 浩	片岡千恵蔵、宮城千賀子、市川春代	吉川文学の記念碑的小説から巖流島の決闘を描く武蔵シリーズ。
23日	水	薩摩の密使	1941年	"	菅 沼 完 二	嵐寛寿郎、橘公子、市川春代	アラカンの当り芸鞍馬天狗シリーズの一本。
24日	木	武蔵坊弁慶	1942年	東 宝	渡 辺 邦 男	岡譲二、山田五十鈴、黒川弥太郎	比佐芳武のオリジナル脚本で綴る若き弁慶のロマンス。
25日	金	名人長次彫	1943年	"	萩 原 遼	長谷川一夫、山田五十鈴、花井蘭子	講談種から三村伸太郎脚本による江戸期木彫名人の人情ばなし。
28日	月	北方に鐘が鳴る	1943年	松 竹	大曾根 辰 夫	市川光男、酒井猛、木暮実千代	村上元三原作、伊藤大輔脚本による北海道屯田兵秘話。
30日	水	成吉思汗	1943年	大 映	{ 牛 原 虚 彦 松 田 定 次	戸上城太郎、橘公子、滝口新太郎	蒙古の英雄ジンギスカンを描くスペクタクル大作。

※満席になりしだい締切らせていただきます。又、開映後の入場は御遠慮下さい。

## 土曜特集：映画史上の名作

※開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製 作 年	監 督	出 演	備 考
4月5日(土)	制服の処女	独・1931年	レオンティーネ・ザガン	ドロテア・ヴィーク、ヘルタ・ティーレ・エミリア・ウンダ	昭和8年ベストテン1位
4月12日(土)	いとこ同志	仏・1959年	クロード・シャブロール	ジュラル・ブダン、ジャンニクロード・ブリアリ・ジュリエット・メニエル	昭和34年ベストテン4位
4月19日(土)	戦争と貞操	ソ・1957年	ミハイル・カラトゾフ	アレクセイ・バターロフ、タチアナ・サモイロワ、ワシリー・メルクーリエフ	カンヌ映画祭グランプリ
4月26日(土)	シシリーの黒い霧	伊・1962年	フランチェスコ・ロージ	フランク・ヴォルフ、ピエトロ・カマラータ、サルヴォ・ランドーネ	ベルリン映画祭監督賞

東京国立近代美術館フィルムセンター 中央区京橋3-11、地下鉄・京橋、宝町下車 TEL (561)0823

※竹橋本館 3月29日～5月5日まで「ポール・テルボー展」開催

—エリザベス女王御訪日記念—  
英国映画の史的展望

当フィルムセンターでは、毎年の行事の一環として海外諸国の協力を得ての外国映画祭を実施し、映画による国際文化交流の一翼を担ってきました。

本年度は、エリザベス女王の御訪日を記念し、映画を通じて日英両国の親善と理解を一層深めるための英国映画祭「英国映画の史的展望」を、ここにブリティッシュ・カウンスルならびにブリティッシュ・フィルム・インスティテュートの共催を得て開催することとなりました。今回の映画祭は、かねてから当センターとしてはその実現を渴望してきたものであり、1921年から1955年に至る、即ち無声時代からトーキーを経て戦後におたる英国映画の重要作品を網羅して紹介するもので、同国30有余年の映画芸術進展の足跡を探る上にまたとない好機を提供するものであります。女王御訪日記念として、英国政府のおが映画愛好者に対するこれ以上の贈り物はないと申せましよう。ひろく映画研究者・愛好者の各位におかれては、この機をお見逃しなく御鑑賞下さるようおすすめいたします。

フィルムセンター

1975年5月15日～8月15日

午後3時・6時15分開映

日曜・祝日休館

\* = 日本語字幕つき    ⊕ = 日本未公開    ⊖ = サイレント    ⊙ = カラー

一般100円・学生70円・小人50円

期 日	曜日	題 名	製作年	監 督	期 日	曜日	題 名	製作年	監 督
5月15日	木	シャーロック・ホルムズ ⊖	1921年	モーリス・エルヴィー	7月16日	水	バーバラ少佐 *	1941年	ガブリエル・パスカル
16日	金	下宿人 ⊕⊖	1926年	アルフレッド・ヒッチコック	17日	木	ヘンリー五世 ⊙	1945年	ローレンス・オリヴィエ
19日	月	村の祭 ⊕⊖	1927年	モーリス・エルヴィー	18日	金	星への道 ⊕	"	アンソニー・アスキス
20日	火	リング ⊕⊖	"	アルフレッド・ヒッチコック	21日	月	オヴァランダース *	1946年	ハリー・ワット
21日	水	農夫の妻 ⊕⊖	1928年	アルフレッド・ヒッチコック	22日	火	逢びき	"	デイヴィッド・リーン
22日	木	ロビンソン・クルーソー漂流記 ⊖	"	M・A・ウェセレル	23日	水	黒水仙 ⊙	1947年	(マイケル・パウエル エメリック・プレスバーク)
23日	金	テンピ ⊖	"	チェリー・キアートン	24日	木	邪魔者は殺せ	"	キャロル・リード
26日	月	流れ星 ⊕⊖	"	(A・V・ブランブル アンソニー・アスキス)	25日	金	乱闘街	"	チャールズ・クライトン
27日	火	ムーラン・ルージュ ⊖	"	E・A・デュボン	28日	月	赤い靴 ⊙	1948年	(マイケル・パウエル エメリック・プレスバーク)
28日	水	ダートムアの小屋 ⊕⊖	1929年	アンソニー・アスキス	29日	火	落ちた偶像 *	"	キャロル・リード
29日	木	密告	"	アルトゥール・ロビゾン	30日	水	第三の男 *	1949年	キャロル・リード
30日	金	殺人者 ⊕	1930年	アルフレッド・ヒッチコック	31日	木	戦慄の七日間 *	1950年	ジョン・ホールディング
6月2日	月	おかしな成金夫婦 ⊕	1931年	アルフレッド・ヒッチコック	8月1日	金	女 狐 *	"	(マイケル・パウエル エメリック・プレスバーク)
3日	火	南欧横断列車	1932年	ウォルター・フォード	4日	月	絶壁の彼方に *	"	シドニー・ギリアット
4日	水	ヘンリー八世の私生活 ⊕	1933年	アレクザンダー・コルダ	5日	火	ラヴェンダー・ヒル・モップ ⊕	1951年	チャールズ・クライトン
5日	木	空襲と毒瓦斯	"	ヴィクター・サヴィル	6日	水	文化果つところ *	"	キャロル・リード
6日	金	善良な仲間 ⊕	"	ヴィクター・サヴィル	7日	木	ホフマン物語 *	"	(マイケル・パウエル エメリック・プレスバーク)
9日	月	永遠の緑	1934年	ヴィクター・サヴィル	8日	金	超音ジェット機 *	1952年	デイヴィッド・リーン
10日	火	カザリン大帝 ⊕	"	ハウル・ツィンナー	11日	月	エヴェレスト征服 *	⊙ 1953年	(トマス・ストバード ジョージ・ロウ)
11日	水	アラン	"	ロバート・フラハティ	12日	火	ホプソンの絹選び *	1954年	デイヴィッド・リーン
12日	木	ドン・ファン	"	アレクザンダー・コルダ	13日	水	嵐の中の青春 *	1955年	ヘンリー・コーネリアス
13日	金	朱金昭	"	ウォルター・フォード	14日	木	マダムと泥棒 *	⊙ "	アレクザンダー・マッケンドリック
16日	月	暗殺者の家	"	アルフレッド・ヒッチコック	15日	金	リチャード三世 *	⊙ "	ローレンス・オリヴィエ
17日	火	三十九夜	1935年	アルフレッド・ヒッチコック	<b>土曜特集：映画史上の名作</b> *開映時間・料金は平常と同じ				
18日	水	描かれた人生	"	アレクザンダー・コルダ					
19日	木	君と踊れば	1936年	ヴィクター・サヴィル					
20日	金	来るべき世界	"	W・C・メンツィース					
23日	月	男は神に非ず	"	ワルター・ライシュ					
24日	火	幽霊西へ行く	"	ルネ・クレール					
25日	水	サボタージュ ⊕	"	アルフレッド・ヒッチコック					
26日	木	若くて無邪気 ⊕	1937年	アルフレッド・ヒッチコック					
27日	金	銀行休日 ⊕	"	キャロル・リード					
30日	月	鎧なき騎士 *	"	ジャック・フェデー					
7月1・2日	臨時休館								
7月3日	木	ヨーク州南区 ⊕	1938年	ヴィクター・サヴィル					
4日	金	ドラマ ⊕⊙	"	ゾルタン・コルダ					
7日	月	ピグマリオン *⊕	"	(レスリー・ハワード アンソニー・アスキス)					
8日	火	四枚の羽根 * ⊙	1939年	ゾルタン・コルダ					
9日	水	星は見下す ⊕	"	キャロル・リード					
10日	木	ミュンヘン行夜行列車 ⊕	1940年	キャロル・リード					
11日	金	バグダッドの盗賊 * ⊙	"	(ルドウィッヒ・ベルガー マイケル・パウエル)					
14日	月	ジャングル・ブック * ⊙	1941年	ゾルタン・コルダ					
15日	火	美女ありき *	"	アレクザンダー・コルダ					
5/17 (出)	米	1957年	東映	今井 正	キネ旬ベスト・テン1位				
24 (出)	残菊物語	1939年	松竹	溝口 健二	" 2位				
31 (出)	森の石松	1949年	松竹	吉村公三郎	" 9位				
6/7 (出)	小島の春	1940年	東京発声	豊田 四郎	" 1位				
14 (出)	阿部一族	1938年	東宝	熊谷 久虎	" 7位				
21 (出)	母と子	1938年	松竹	渋谷 実	" 3位				
28 (出)	しとやかな獣	1962年	大映	川島 雄三	" 6位				
7/5 (出)	戦国群盗伝	1937年	PCL	滝沢 英輔					
12 (出)	無法松の一生	1943年	大映	稲垣 浩	映評ベスト・テン 1位				
19 (出)	日本の悲劇	1953年	松竹	木下 恵介	キネ旬ベスト・テン 6位				
26 (出)	浪華悲歌	1936年	第一映画	溝口 健二	" 3位				
8/2 (出)	東海道四谷怪談	1959年	新東宝	中川 信夫					
9 (出)	ビルマの罌粟	1956年	日活	市川 崑	キネ旬ベスト・テン5位				
16 (出)	暁の脱走	1950年	新東宝	谷口 千吉	" 3位				

# 特集・逝ける映画人を偲んで (1974~75)

映画史に光彩を放った秀作の創造に大きく貢献し、近年(1974~75)惜しまれつつ逝去された内外の映画監督、脚本家ならびに俳優を偲んで、それぞれの代表的作品により生前の業績を回顧することとし、ここに「特集・逝ける映画人を偲んで」を企画開催いたします。ひろく映画愛好者のかたがたの御鑑賞をおすすめします。 **フィルムセンター**

1975年9月9日~10月15日 日曜・祝日休館

\* = 日本語字幕なし

午後3時・6時15分上映開始 一般100円・学生70円・小人50円

期 日	曜 日	題 名	製 作 年	監 督	出 演 者
9月9日	火	少年探偵団	独・1932年	ゲルハルト・ランプレヒト	ロルフ・ヴェンクハウス、ケーテ・ハーク
10日	水	アンジェール*	仏・1934年	マルセル・パニョール	フェルナンデル、オラーヌ・ドゥマジス、ジャン・セルヴェ
11日	木	わが谷は緑なりき*	米・1941年	ジョン・フォード	ドナルド・クリスプ、モーリン・オハラ、ウォルター・ピジョン
12日	金	制服の処女	独・1931年	レオンティーネ・ザガン	ドロテア・ヴィーク、ヘルタ・ティーレ、エミリア・ウンダ
16日	火	会議は踊る	独・1931年	エリック・シャレル	ヴィリ・フリッチュ、リリアン・ハーヴェイ、コンラート・ファイト
17日	水	深夜の超特急	英・1957年	コンプトン・ベネット	リー・パターソン、ケイ・カラード、アラン・ギフォード
18日	木	綴方教室	日・1938年	山本嘉次郎	高峰秀子、徳川夢声、清川虹子、滝沢修
19日	金	馬	日・1941年	"	高峰秀子、藤原釜足、竹久千恵子
22日	月	ハワイ・マレー沖海戦	日・1942年	"	大河内伝次郎、原節子、英百合子、伊藤薫
23日	火	五人の斥候兵	日・1938年	田坂具隆	小杉勇、伊沢一郎、見明凡太郎、井染四郎
25日	木	路傍の石	日・1938年	"	片山明彦、小杉勇、滝花久子、山本礼三郎
26日	金	はだかっ子	日・1961年	"	伊藤敏孝、有馬稲子、三国連太郎、小宮光江
29日	月	冷飯とおさんとちゃん	日・1965年	"	中村錦之助、三田佳子、新珠三千代、森光子
30日	火	新しき土	日・独・1937年	アーノルド・ファンク	原節子、小杉勇、ルート・エベラー、早川雪州
10月1日	水	自転車泥棒	伊・1948年	ヴィットリオ・デ・シーカ	ランベルト・マジョラーニ、エンツォ・スタヨラ
2日	木	屋 根	伊・1959年	"	ガブリエラ・パロッチェ、ジョルジョ・リストツツィ
3日	金	百万両の壺	日・1935年	山中貞雄	沢村国太郎、大河内伝次郎、花井蘭子、喜代三
6日	月	鉄道員	伊・1956年	ピエトロ・ジェルミ	ピエトロ・ジェルミ、エドアルド・ネヴォア
7日	火	イタリア式離婚狂想曲	伊・1962年	"	マルチェロ・マストロヤンニ、ダニエラ・ロッカ
8日	水	最後の戦闘機	仏・1935年	アナトール・リトヴァク	シャルル・ヴァネル、J=P・オーモン、アナベラ
9日	木	大いなる幻影	仏・1937年	ジャン・ルノワール	ピエール・フレネ、ジャン・ギャバン、ディタ・パロ
13日	月	女だけの都	仏・1935年	ジャック・フェデー	(脚本)シャルル・スパーク、 <del>ジャン・ルノワール</del>
14日	火	パニック	仏・1946年	ジュリアン・デュヴィヴィエ	ミシェル・シモン、ヴィヴィアヌ・ロマンス、ポール・ベルナル
15日	水	おかあさん	日・1952年	成瀬巳喜男	加東大介、田中絹代、香川京子、岡田英次

**Gerhard LAMPRECHT** 1897年10月6日ベルリンに生まれる。1914年から脚本家として映画界で活躍、23年「ブッテンブローク家」で監督となり、25年「第五階級」により一流監督に伍した。トーキー以後「黒騎士」「ヴェニスの舟唄」等代表作を発表した。ベルリンの映画保存所創設者の一人で、サイレント時代のドイツ映画に精通する映画史家として著名。1974年3月没。享年76歳。

**Marcel PAGNOL** 1895年2月28日マルセーユ郊外に生まれる。25年戯曲《栄光を売る商人》で劇壇にデビュー、29年《マリウス》に続く《ファニー》《セザール》の三部作で決定的地位を得た。トーキー映画の出現と共に映画界に乗り出し、「アンジェール」は第一回監督作品。1974年4月24日没。享年79歳。

**Donald CRISP** 1880年7月27日スコットランドに生まれる。1906年アメリカへ渡りグリフィス監督の助手を勤め、15年「国民の創生」、19年「散り行く花」などに出演、無声期に監督として「海底王キートン」「ドンQ」などがあり、「わが谷は緑なりき」ではアカデミー助演男優賞を受けた。1974年5月26日没。享年93歳。

**Leontine SAGAN** 1889年ウィーンに生まれ舞台女優としてデビュー後、1931年ヴェテラン監督カール・フレリヒの監修のもとに『制服の処女』を演出し、一躍世界的にその名を知られるようになった。32年英国に亡命し、アレグザンダー・コルダのもとで「明日の人たち」を監督したが前作に及ばなかった。1974年5月没。享年85歳。

**Erich CHARELL** プレスラウで生まれたが生年月日不詳。軽喜劇、オペレッタ、レビューなどの舞台演出で有名となり、トーキー時代を迎えてウーファ社のエリヒ・ポマーにその才能を認められ31年「会議は踊る」を監督して国際的名声を得る。ハリウッドに招かれて34年「キャラバン」を演出したが前作に及ばず、舞台演出に戻った。1974年9月15日没。

**Compton BENNETT** 1900年1月15日タンブリッジ・ウェルズ生まれ。大戦勃発までロンドン・フィルムの映画編集をつとめ、後空軍用の短編映画を監督、44年「ロッヂディルの男たち」で監督となる。48年~51年ハリウッドに滞在したが51年帰英、1974年8月13日死去。享年74歳。

**山本嘉次郎** 1902年3月15日東京生まれ。日活向島で助監督の後、24年東亜キネマに移って「断雲」で監督となり、高松プロで俳優、日活の脚本部を経て、34年PCLに入社して「ちゃっきり金太」を代表とする榎本健一とのコンビで多数の喜劇を監督した。ドキュメンタリー的手法の作品やスペクタクル映画などもこなして戦前の大監督の一人として活躍、門下より黒沢明監督を送り出した。戦後は大衆娯楽性にあふれた作品が多く、その博識振りで映画界以外の世界でも活躍した。1974年9月21日没。享年72歳。

**田坂具隆** 1902年4月14日広島県生まれ。三高中退後新聞記者生活を経て、24年日活京都撮影所入社。26年「かぼちゃ騒動記」で監督となり、同じ頃スタートした内田吐夢とは日活多摩川での良きライバルであった。広島で被爆したが再起し、ヒューマニズムあふれる作品で代表的監督の地位を築き、新人の育成にも大きな手腕を示した。夫人は女優の滝花久子。1974年10月17日没。享年72歳。

**Arnold FANCK** 1889年フランケンタールで生まれ、地質学者として世に出たあと、13年にスキーを主題にしたドキュメンタリー映画を作る。19年から本格的映画作家として活動を開始し、「スキーの驚異」「狐狩り」を経て26年「聖山」で山岳映画の巨匠となる。37年来日して伊丹万作との共同監督、原節子主演で「新しき土」を監督した。代表作「死の銀嶺」「SOS氷山」「モンブランの王者」など。1974年10月17日没。享年85歳。

**Vittorio DE SICA** 1901年7月7日ローマの南ソーラに生まれ、22年喜劇「愛の夢」で初舞台を踏み、28年マリオ・アルミランテ監督の喜劇「気違い仲間」で映画にデビュー、32年「老婦人」以来イタリア映画の人気スターとなる。40年「紅バラ」で監督に転じ46年「靴みがき」を発表してネオレアリズモの旗頭の一人として世界的名声を博し、74年「旅愁」まで多くの名作を世に送った。1974年11月13日パリで死去。享年73歳。

**沢村国太郎** 本名加藤友一。1905年6月19日浅草生まれ。沢村宗十郎の門に入り13年帝劇で初舞台を踏み歌舞伎役者として活躍、24年四代目沢村国太郎を襲名。29年マキノ省三に招かれ映画界に入り「旗本小普請衆」にデビュー、マキノ解散後東活、日活に移り「丹下左膳」「清水港」などで二枚目スターとして活躍、200本近い映画に出演。戦後は妹の沢村貞子、弟の故加東大介らと劇団「新伎座」を結成した。夫人は日本映画創草期の一人牧野省三の長女マキノ智子であり、その実弟にマキノ雅弘監督、子供は長門裕之、津川雅彦という芸能一家として有名。1974年11月26日死去。享年69歳。

**Pietro GERMI** 1914年9月14日ジェノバ市生まれ。各種の職業を転々とした後ローマの映画実験センターに入り、45年処女監督作「証人」で注目を浴び、第4作「越境者」(50)で世界的名声を得た。「鉄道員」「わらの男」「刑事」では自から主役を演じて好評を博したが1974年12月5日肝臓ガンのためローマで死去。遺作は72年「アルフレード アルフレード」。享年60歳。

**Anatol LITVAK** 1902年5月15日キエフ生まれ。23年レニングラードで俳優として出発した後ドイツに渡り、30年監督になって、31年「女人禁制」、32年「今宵こそは」で注目されたが、ナチが政権につくとフランスに亡命して幾多秀作を発表。37年渡米して56年「追想」、61年「さよならをもう一度」、66年「將軍たちの夜」などで才能を發揮、74年12月15日ガンのためパリ郊外で死去。70年「殺意の週末」が遺作となった。享年72歳。

**Pierre FRESNAY** 1897年4月2日パリ生まれ。幼い頃から演劇に惹かれて15~27年にコメディ・フランセーズの舞台に立ち、36年までブルヴァールの各劇場に出演し、以後ミジョディエール劇場の支配人となる。映画には15年から出演しているが、パニョールの三部作31年「マリウス」、32年「ファニー」、36年「セザール」で名声を獲得した。1975年1月9日死去。享年77歳。

**Charles SPAAK** 1903年5月25日ブリュセルで生まれ、中等教育を終えて法学博士の称号をとった。劇作家としてデビューした後28年パリに移り、故ジャック・フェデー監督の秘書となり、28年フェデー監督の「俄か紳士」で脚本家としてデビュー、以後フェデーの女性三部作を始めとして、デュヴィヴィエ、ルノワール等との仕事は30年代フランス映画の黄金時代を築く一翼を担った。75年2月4日死去。享年71歳。

**Michel SIMON** 1895年4月9日ジュネーブで生まれ、1911年パリに出て各種の職業を経た後22年にサシャ・ピトエフに認められて彼の劇団に入り、ついでルイ・ジュールヴェ劇団で活躍。映画界には、25年「生けるパスカル」でデビューして以来、1975年5月30日パリで死去するまで、その特異なマスクと共にフランス映画界の元老的性格俳優であった。享年80歳。

**加東大介** 本名加藤徳之助。1911年2月18日狂言作家竹楽伝蔵の次男として東京に生まれ、実兄は故沢村国太郎、実姉は沢村貞子、甥には長門裕之、津川雅彦らに囲まれた文字通りの芸能一家。左団次一座から前進座に移って市川彦司の芸名で活躍、PCL映画「戦国群盗伝」などに出演。戦後の48年映画界に入って加東大介と改名し「羅生門」「七人の侍」などに出演した後、「大番」シリーズ四作で主役の座を占めた他、東宝の社長シリーズの常連として親しまれた。従軍中の体験を書いたエッセー「南の島に雪が降る」で文春読者賞を得、自身の出演で映画化、舞台化された。32年「おかあさん」「決闘鍵屋の辻」等で毎日映画コンクール助演賞、55年「血槍富士」「ここに泉あり」等でブルーリボン助演賞を受賞、その実直な人柄とユーモアを合わせもち、映画、舞台、テレビと幅広く活躍して親しまれた。1975年7月31日ガンのため死去。享年64歳。

## 土曜特集：映画史上の名作

\* 開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製 作 年	監 督	出 演 者
9月13日(土)	落ちた偶像	英・1948年	キャロル・リード	ラルフ・リチャードソン、ミシェル・モルガン
20日(土)	第三の男	英・1949年	"	ジョゼフ・コットン、オーソン・ウェルズ
27日(土)	破 戒	松竹・1948年	木下 恵 介	池部良、桂木洋子、宇野重吉
10月4日(土)	御詠治郎吉格子(無声)	日活・1931年	伊 藤 大 輔	大河内伝次郎、伏見信子
11日(土)	妻よ薔薇のやうに	PCL・1935年	成 瀬 巳 喜 男	丸山定夫、英百合子、千葉早智子

# 芸術祭大賞映画の回顧

文化庁芸術祭は、「すぐれた作品をひろく一般に公開して芸術鑑賞の機運を醸成するとともに、芸術家に意欲的な公演発表をうながして芸術の創造と進展に寄与し、もって国民文化の向上をはかる」ために、戦後荒廃した焼土の中から誕生し、昭和21年(第1回)以来、毎年10月および11月に開催され本年は第30回を迎えました。

芸術祭の参加部門は演劇、音楽、舞踊等の9部門があり、このうち映画部門は日本劇映画(昭和23年度創設)、日本記録映画、外国映画(共に昭和32年度創設)に分けられ、毎年度、参加作品のうち優秀と認められた作品に対しては芸術祭大賞、芸術祭優秀賞が授与されて今日に至っております。

当フィルムセンターでは、芸術祭が本年30回を迎えたことに協賛して、これまでに大賞を受賞した映画の回顧上映を企画開催することにしました。ひろく映画愛好者のかたがたの御鑑賞をおすすめします。

フィルムセンター

日曜・祝日休館

午後3時・6時15分上映開始

一般100円・学生70円・小人50円

期 日	題 名	製作年	製作会社	監 督	出 演
10月16日	木 王 将	1948年	大映	伊 藤 大 輔	阪東妻三郎、水戸光子、三条美紀、滝沢修
17日	金 蜂の巣の子供たち	"	蜂の巣プロ	清 水 宏	島村修作、夏木雅子、御庄正一
20日	月 野良犬	1949年	東宝	黒 沢 明	志村喬、三船敏郎、木村功、千石規子
21日	火 { 遭 難 黒部峡谷	1957年	岩波 日映社	高 村 武 次 西 尾 善 介	
22日	水 帰 郷	1950年	松竹	大 庭 秀 雄	佐分利信、木暮実千代、津島恵子、山村聡
23日	木 麦 秋	1951年	"	小 津 安二郎	原節子、笠智衆、杉村春子、三宅邦子
24日	金 生きる	1952年	東宝	黒 沢 明	志村喬、小田切みき、金子信雄、藤原釜足
27日	月 { 法隆寺 富 士	1958年	岩波 日 本 産 業	羽 仁 進 赤 佐 政 治	
28日	火 東京物語	1953年	松竹	小 津 安二郎	笠智衆、東山千栄子、原節子、香川京子
29日	水 二十四の瞳	1954年	"	木 下 恵 介	高峰秀子、田村高広、井川邦子、小林トシ子
30日	木 夫婦善哉	1955年	東宝	豊 田 四 郎	森繁久弥、淡島千景、司葉子
31日	金 { 秘境ヒマラヤ 山かげに生きる人たち	1960年	読売 英映画	中村正、大森栄 青 山 通 春	
11月4日	火 流れる	1956年	東宝	成 瀬 巳喜男	山田五十鈴、高峰秀子、田中絹代、栗島すみ子
5日	水 喜びも悲しみも幾歳月	1957年	松竹	木 下 恵 介	佐田啓二、高峰秀子、桂木洋子、田村高広
6日	木 彼岸花	1958年	"	小 津 安二郎	佐分利信、田中絹代、有馬稲子、山本富士子
7日	金 { 尾 瀬 ある機関助士 美しい国土	1962年 1963年 1964年	学研 岩波 東京シネマ	石 川 茂 樹 土 本 典 昭 山 添 哲	
10日	月 にあんちゃん	1959年	日活	今 村 昌 平	長門裕之、松尾嘉代、沖村武、前田暁子
11日	火 おとうと	1960年	大映	市 川 崑	岸恵子、川口浩、森雅之、田中絹代
12日	水 反逆児	1961年	東映	伊 藤 大 輔	中村錦之助、岩崎加根子、杉村春子、丘さとみ
13日	木 { 姫路城 伝統工芸・わざと人 ライチョウ	1965年 1966年 1967年	記録映画社 " ネル代協	上 野 耕 三 上 野 耕 三 下 村 兼 史	
14日	金 人 間	1962年	日活	新 藤 兼 人	殿山泰司、乙羽信子、佐藤慶、山本圭
17日	月 太平洋ひとりぼっち	1963年	日活	市 川 崑	石原裕次郎、森雅之、田中絹代、浅丘ルリ子

## 土曜特集：映画史上の名作

\*開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
10月18日(土)	幌 馬 車(無声)	米・1923年	ジェームズ・クルーズ	J・ウォーレン・ケリガン、ロイス・ウィルソン 大13キネ旬ベスト・テン1位
25日(土)	{ カリガリ博士(無声) 朝から夜中まで(無声)	独・1919年 独・1920年	ロベルト・ヴィーネ カール・H・マルティン	ヴェルナー・クラウス、コンラート・ファイト エルスト・ドイッチュ、エルナ・モレナ
11月1日(土)	サンライズ(無声)	米・1927年	F・W・ムルナウ	ジョージ・オブライエン、ジャネット・ゲイナー 昭3キネ旬ベスト・テン1位
8日(土)	靈魂の不滅(無声)	瑞・1920年	ヴィクトル・シェストレム	ヴィクトル・シェストレム、アストリード・ホルム
15日(土)	青 い 鳥(無声)	米・1918年	モーリス・トゥルヌール	ロビン・マクドーガル、チューラ・ベル

東京国立近代美術館 フィルムセンター 中央区京橋3-11 地下鉄・京橋、宝町下車 TEL (561)0823

\*竹橋本館 9月27日~11月16日まで「シュルレアリスム展」開催

# フランス映画を創った人たち— 第2期

日曜・祝日休館

午後3時・6時15分開映

一般100円・学生70円・小人50円

\*印の作品には日本語字幕はついておりません。

期 日	曜日	題 名	製作年	監 督	出 演
11月19, 20日	水・木	ミモザ館	1934年	ジャック・フェデー	フランソワーズ・ロゼ, ポール・ベルナル, アンドレ・アレルム
21日	金	旅する人々*	1936年	〃	フランソワーズ・ロゼ, シルヴィア・パタイユ, ギヨーム・ド・サクス
25日	火	ヴェルダン—歴史の幻想	1928年	レオン・ポワリエ	アルベール・ブレジャン, トミー・ブールデル, シュザンヌ・ピアンケッティ
26日	水	美しき青春	1936年	ジャン・ブノワ=レヴィ	J-L・パロー, マドレーヌ・ルノー, コンスタン・レミ
27日	木	白鳥の死	1938年	〃	イヴェット・ショーヴィレ, ミア・スラヴェンカ, ジャニーヌ・シャラ
28日, 12月1日	金・月	黄金時代*	1930年	ルイス・ブニュエル	ガストン・モド, リア・リス, マクス・エルネスト
		詩人の血*	1931年	ジャン・コクトー	リー・ミラー, ポーリーヌ・カルトン
2日	火	ラ・マルセイエーズ*	1936年	ジャン・ルノワール	ビュール・ルノワール, リーズ・ドラマル, ルイ・ジュヴェ
3・4日	水・木	ゲームの規則	1939年	〃	マルセル・ダリウ, ノラ・グレゴール, ジャン・ルノワール
5日	金	黄金の馬車*	1952年	〃	アンナ・マニャーニ, ダンカン・ラモン, ポール・キャンペル
8日	月	ゴルダー	1930年	ジュリアン・デュヴィヴィエ	アリ・ポール, ポール・アンドラル, ジャッキー・モニエ
10日	火・水	にんじん	1932年	〃	アリ・ポール, ロベール・リナン, カトリール・フォントネー
11日	木	白き処女地	1934年	〃	マドレーヌ・ルノー, ジャン・ギャバン, J-P・オーモン
12日	金	—臨時休館—			
15・16日	月・火	商船テナシチー	1934年	ジュリアン・デュヴィヴィエ	マリー・グローリ, アルベール・ブレジャン, ユベール・アブレエ
17・18日	水・木	我等の仲間	1936年	〃	ジャン・ギャバン, シャルル・ヴァネリ, ヴィヴィアーヌ・ロマンヌ
19・22日	金・月	望郷	1937年	〃	ジャン・ギャバン, ミレーユ・バラン, リーヌ・ノロ
23日	火	旅路の果て	1939年	〃	ルイ・ジュヴェ, ヴィクトル・フランサン, ミシェル・シモン
24・25日	水・木	ル・ミリオン	1931年	ルネ・クレール	ルネ・ルフェブル, アナベラ, ルネ・アリペール
12月26日～1月6日		—休 館—			
1月7・8日	水・木	巴里祭	1932年	ルネ・クレール	アナベラ, ジョルジュ・リゴ, レーモン・コルディ
9日	金	沈黙は金*	1947年	〃	モーリス・シュヴァリエ, フランソワ・ベリエ, マルセル・デアン
12日	月	悪魔の美しさ	1949年	〃	ジェラルド・フィリップ, ミシェル・シモン, シモーヌ・ヴァレル
13日	火	不思議なヴィクトル氏*	1938年	ジャン・グレミヨン	レーミュ, ビュール・ブランシャール, ヴィヴィアーヌ・ロマンヌ
14日	水	曳船*	1941年	〃	ジャン・ギャバン, マドレーヌ・ルノー, ミシュール・モルガン
16日	金	高原の情熱*	1942年	〃	マドレーヌ・ルノー, ビュール・ブラッスール, ポール・ベルナル
19日	月	大空はあなたのもの*	1943年	〃	マドレーヌ・ルノー, シャルル・ヴァネリ, ジャン・ドビュクール
20日	火	アトラント号*	1934年	ジャン・ヴィゴ	ジャン・ダステ, デイタ・マロロ, ミシェル・シモン
21日	水	ジュニイの家	1936年	マルセル・カルネ	フランソワーズ・ロゼ, アルベール・ブレジャン, J-L・パロー
22日	木	おかしなドラマ*	1937年	〃	ミシェル・シモン, J-L・パロー, フランソワーズ・ロゼ
23日	金	北ホテル*	1938年	〃	アナベラ, ルイ・ジュヴェ, J-P・オーモン
26日	月	悪魔が夜来る*	1942年	〃	アラン・キュニ, アルレッティ, マリー・デア
27日	火	夜の扉*	1946年	〃	イヴ・モンタン, ビュール・ブラッスール

## 土曜特集：映画史上の名作

開映時間、料金は平常と同じ。但し「天井桟敷の人々」のみ1時, 5時開映。

期 日	題 名	製 作 年	監 督	出 演
11月22日(土)	第三の男	英・1949年	キャロル・リード	ジョゼフ・コットン, オーソン・ウェルズ
29日(土)	気まぐれ冠者	千恵プロ・1935年	伊丹 万作	片岡千恵蔵, 市川春代, 田村邦男
12月6日(土)	修善寺物語	松竹・1955年	中村 登	坂東襄助, 高橋貞二, 岸 恵子
13日(土)	黒い画集	東宝・1960年	堀川 弘通	小林桂樹, 原知佐子, 織田政雄
20日(土)	幕末太陽伝	日活・1957年	川島 雄三	フランキー堺, 小沢昭一, 石原裕次郎
1月10日(土)	チャップリン初期短篇集 —「フランス映画を創った人たち」特集の特別上映—	米・1914年～16年	「マーベルとチャップリン」, 「失恋」, 「女優」, 「改悟」	
17日(土)	天井桟敷の人々	仏・1944年	マルセル・カルネ	J-L・パロー, アルレッティ, マリア・カザレス
24日(土)	〃	〃	〃	ビュール・ブラッスール, ビュール・ルノワール

東京国立近代美術館フィルムセンター  
\*竹橋本館

中央区京橋3-11

地下鉄・京橋、宝町下車 TEL(561)0823

11月29日～1月11日まで「フランス工芸の美」展開催

# 小津安二郎監督特集

数年来準備を重ねてきた「小津安二郎監督特集」を、開館5周年掉尾を飾る特別企画としてここに漸く開催する運びとなりました。御承知のとおり、小津監督は日本が世界に誇る代表的映画作家であり、欧米諸国においても溝口、黒沢とならんで高い評価と尊敬を受けている極めて数少ない世界的名匠であります。今回の特集は、これまでの回顧上映とは異なり、現存する小津作品のすべてを一堂に集めての連続上映で、まさに空前の画期的な計画であります。ひろく映画愛好者のかたがたがこの好機会をお見逃しなく、小津芸術の真髄を感得されるよう御利用御鑑賞を願うものです。

フィルムセンター

日曜・祝日休館

午後3時・6時15分開映

一般100円・学生70円・小人50円

期 日	曜 日	題 名	製作会社	製作年	出 演 者
1月29日	木	若き日(90分)	松竹	1929年	結城一郎、斎藤達雄、松井潤子、飯田蝶子
30日	金	{ 大学は出たけれど(部分・20分) { 落第はしたけれど(80分)	"	"	高田稔、田中絹代、鈴木歌子、日守新一
2月2日	月	朗かに歩め(100分)	"	1930年	斎藤達雄、田中絹代、月田一郎、笠智衆
3日	火	その夜の妻(64分)	"	"	高田稔、川崎弘子、阪本武、鈴木歌子
4日	水	淑女と髯(80分)	"	1930年	岡田時彦、八雲恵美子、山本冬郷、斎藤達雄
5日	木	東京の合唱(90分)	"	1931年	岡田時彦、川崎弘子、月田一郎、伊達里子
6日	金	生れてはみたけれど(90分)	"	"	岡田時彦、八雲恵美子、斎藤達雄、高峰秀子
9日	月	青春の夢いまいづこ(50分)	"	1932年	斎藤達雄、吉川満子、菅原秀雄、突貫小僧
10日	火	出来ごろ(100分)	"	"	江川宇礼雄、田中絹代、斎藤達雄、飯田蝶子
12日	木	非常線の女(100分)	"	1933年	阪本武、伏見信子、大日方伝、飯田蝶子
13日	金	{ 東京の女(46分) { 母を恋はずや(70分)	"	"	田中絹代、岡譲二、水久保澄子、三井秀夫
16日	月	浮草物語(85分)	"	1934年	岡田嘉子、江川宇礼雄、田中絹代、奈良真養
17日	火	東京の宿(78分)	"	"	吉川満子、大日方伝、三井秀夫、逢初夢子
18日	水	一人息子(80分) ※以下トーカー	"	"	坂本武、飯田蝶子、三井秀男、八雲理恵子
19日	木	淑女は何を忘れたか(70分)	"	1935年	坂本武、岡田嘉子、飯田蝶子、突貫小僧
20・23日	金・月	戸田家の兄妹(100分)	"	1936年	飯田蝶子、日守新一、坪内美子、笠智衆
24日	火	父ありき(85分)	"	1937年	栗島すみ子、斎藤達雄、桑野通子、佐野周二
25日	水	長屋紳士録(72分)	"	1941年	佐分利信、高峰三枝子、桑野通子、斎藤達雄
26日	木	風の中の牝雞(85分)	"	1942年	笠智衆、佐野周二、佐分利信、坂本武
27日・3月1日	金・月	晩春(107分)	"	1947年	飯田蝶子、笠智衆、吉川満子、小沢栄太郎
2日	火	宗方姉妹(112分)	新東宝	1948年	佐野周二、田中絹代、笠智衆、村田知英子
3・4日	水・木	麦秋(125分)	松竹	1949年	笠智衆、原節子、月丘夢路、杉村春子
5日	金	お茶漬の味(120分)	"	1950年	田中絹代、高峰秀子、上原謙、高杉早苗
8・9日	月・火	東京物語(135分)	"	1951年	原節子、淡島千景、杉村春子、二本柳寛
10・11日	水・木	早春(143分)	"	1952年	佐分利信、木暮実千代、鶴田浩二、津島恵子
12日	金	東京暮色(130分)	"	1953年	笠智衆、東山千栄子、原節子、香川京子
15・16日	月・火	彼岸花(118分)	"	1956年	池部良、淡島千景、高橋貞二、岸恵子
17・18日	水・木	お早よう(93分)	"	1957年	原節子、有馬稲子、笠智衆、山田五十鈴
19・22日	金・月	浮草(100分)	大映	1958年	有馬稲子、山本富士子、佐分利信、田中絹代
23・24日	火・水	秋日和(125分)	松竹	1959年	佐田啓二、久我美子、笠智衆、杉村春子
25・26日	木・金	小早川家の秋(103分)	東宝	1959年	中村鴈治郎、京マチ子、杉村春子、若尾文子
29・30日	月・火	秋刀魚の味(110分)	松竹	1960年	原節子、司葉子、岡田茉莉子、佐田啓二
				1961年	中村鴈治郎、原節子、浪花千栄子、司葉子
				1962年	岩下志麻、笠智衆、三上真一郎、岡田茉莉子

## 土曜特集：映画史上の名作

\* 開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
1月31日(土)	アマシー映画祭特別上映 「日本漫画映画の回顧」(1924~56)「姥捨山」「蛙は蛙」「二つの世界」「こがねの花」			
2月7日(土)	愛怨怳(90分)	新興・1938年	溝口健二	山路ふみ子、河津清三郎、清水将夫
14日(土)	道(105分)	伊・1954年	F・フェリーニ	アンソニー・クイン、ジュリエッタ・マシーナ
21日(土)	野いちご(81分)	瑞・1957年	I・ベルイマン	ヴィクトル・シェストレム、イングリット・チューリン
28日(土)	アパッチ岩(115分)	米・1948年	J・フォード	ヘンリー・フォンダ、ジョン・ウェイン
3月6日(土)	小さな兵隊(87分)	仏・1960年	J-L・ゴダール	ミシェル・シュホール、アンナ・カリーナ
13日(土)	紳士同盟(114分)	英・1960年	B・ディアデン	ジャック・ホーキンス、ナイジェル・バトリック
27日(土)	——臨時休館——			

東京国立近代美術館フィルムセンター

中央区京橋3-11

地下鉄・京橋、宝町下車

T E L (561)0823

\* 竹橋本館 1月29日~3月21日まで「ドイツ・リアリズム 1919~1933」展開催